アウクスブルクでの忘れられない思い出

西　のぞみ

はじめに

私は今回尼崎市の青年使節団として、アウクスブルク市へ行くこととなりましたが、このプログラムを知ったきっかけは何気なく読んでいた尼崎市の市報でした。いつもなにか面白い情報がないかなと読んでいたのですが、その時に見つけたのがこの青年使節団の募集でした。今年の３月に行く予定だった短期留学が、現地の情勢によりキャンセルになるという出来ごとの後にこの募集を見つけたので、これは行くしかない！とすぐに応募に踏み切りました。

面接は日本語と英語の両方でと事前に知らされてはいたのですが、何を言うか本番ぎりぎりまで決まらず、本番勝負でたどたどしい英語で受け答えをしたり、そもそも受け答えの前に面接時の基本の動きを間違えたりしてしまったので、半ばあきらめていたところに合格通知が…。

ちょうど体調を崩して寝込んでいたときに合格通知が届いたので、初めは夢かと思いましたが何回確認しても、選ばれました、との文字が書いてあったので、風邪も忘れるほど喜んだのをとても覚えています。

さて、このようにして選ばれた私のアウクスブルクでの思い出ですが、ほんとうに数え切れないほどの体験を 10 日間の間でさせていただいたので、そのなかから、とくに印象に残ったことなどを中心に書いていきたいと思います。

町の景色と建物

私がアウクスブルクに着いた初日からずっと印象に残っているのはその街並みや、景色です。やはり日本のものとは全く違っていて、どの景色を切り取っても絵になるものばかりで、テレビや写真でしか見たことがなかったドイツの街並みが実際に目の前に現れた時は本当にうれしかったです。建物の色もオレンジや赤、青などカラフルなものが多く、屋根が赤い家がほとんどでした。日本ではこんなにカラフルな家が建っていることはあまりないので、このような景色を見たときに「ああ、外国に来たんだなあ」と実感しました。

アウクスブルクの街並み

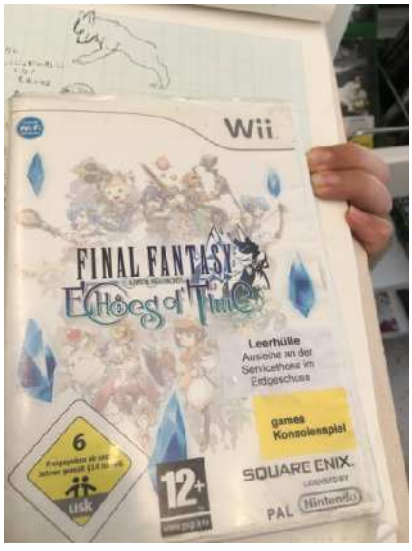
ドイツにもある、日本の文化

私がアウクスブルクでいろいろな場所を訪れたときに驚いたのが、日本の文化が思っていたより普及しているという点です。

市立図書館を訪れた際には、マンガのコーナーに、日本のマンガやゲームがたくさ

ん置かれているのを見つけました。私自身マンガやゲームが好きなので、外国の、それも図書館に置いているという事にとてもうれしくなりました。

店で売られていた日本のカードゲーム



図書館で借りることのできるゲームには
日本の物も

また、スマートフォンのアプリで人気のPokemonGOですが、ドイツでも人気らしく、私のホストシスターもプレイしているのを見かけ一緒に遊ぶことが出来たのはとても面白い思い出になりました。

他にも日本料理のファストフード店などを何件か見つけることが出来ました。日本料理のファストフード店にはホストファミリーと過ごす日に昼食のため訪れたのですが、餃子が焼き餃子ではなく揚げ餃子だったり、緑茶がなぜか砂糖入りだったりと、本物とは少し違う点も有りましたが、その違いも面白かったです。改めて、日本の文化は海外にもきちんと広まっているんだなと驚きでした。

ホストファミリー

やはり、一番思い出に残っているのが、ホストファミリーです。ドイツ語は全くできないうえに、英語も上手く話せない、さらに、一週間もお世話になるということでとても緊張していた私にホストファミリーはとても優しく接してくださいました。

毎朝集合場所に出発する前に、おやつにとカップケーキやお菓子を持たせてくれたり、伝統料理を沢山いただいたり、庭でバーベキューをしたり、夜にお祭りに行ったり…と、ほんとうに色々な体験をさせてくださいました。その中でも一番うれしかったのが、伝統衣装を頂いたことです。元々研修の後半プログラムで伝統衣装を着る体験があると知っていたため、それを楽しみにしていたのですが、体験をする前にホストファミリーからサプライズで衣装を頂きました。これを着てファミリーデイの夜に出かけるお祭りも行くよ、と言われた時はまさか服を頂けるとは思っていなかったのでとても驚いたのをよく覚えています。ファミリーデイの時も、ショッピングやサッカーの試合、夜に行われていたお祭りなど

いろんなところに連れて行っていただいて、ほんとうに忘れられない体験が出来ました。感謝してもしつくせないほどです。

さいごに

　今回のアウクスブルクでの研修では数え切れないほどの経験をし、また色々な分野で学びが深められたと感じています。そしてなによりアウクスブルク市がどのようなところかを知れたというのが一番大きな経験だと感じています。この経験は一生忘れられないものだと日本に帰って来たときに確信しました。この経験を活かして、なにか尼崎市の中でアウクスブルク市のことを広報するイベントなどがあれば積極的に参加したいと思いました。このような素晴らしいプロジェクトに参加できたことを心から嬉しく思います。本当に有難うございました。

塔の頂上からの眺め